

挿図番号	名称	出土地点	層位	長さ	幅	厚さ	重量	石材	被熱	備考
図119-1	石 鏃	MT64	IV	2.19	1.17	0.30	0.7	頁 岩	-	アスファルト
図119-2	石 鏃	-	-	2.04	1.06	0.29	0.8	頁 岩	-	アスファルト
図119-3	石 鏃	NA63	IV	3.20	1.27	0.32	1.3	頁 岩	-	
図119-4	石 鏃	MQ52	V	3.60	1.74	0.32	1.3	頁 岩	-	
図119-5	石 槍	NP51	Ⅲa	4.52	1.07	0.72	3.9	頁 岩	-	
図119-6	石 槍	NP52	Ⅲb	5.95	1.70	1.15	8.4	頁 岩	-	
図119-7	石 錐	NB49	Ⅲ	5.44	5.63	0.71	32.5	頁 岩	-	
図119-8	石 錐	MQ51	IV	4.37	3.45	1.19	13.3	頁 岩	-	
図119-9	石 錐	MQ51	IV	△3.92	2.23	0.49	1.7	頁 岩	-	
図119-10	石 錐	MR48	II	△2.31	3.00	0.90	4.2	頁 岩	-	
図119-11	石 錐	-	-	△2.57	2.27	0.59	2.5	頁 岩	-	
図119-12	石 錐	-	-	△1.61	△2.06	0.56	1.6	頁 岩	-	
図119-13	石 筥	MQ53	IV	7.01	2.82	1.45	33.7	頁 岩	-	
図119-14	石 筥	NM50	Ⅲa	5.95	2.39	0.91	15.6	頁 岩	-	
図119-15	石 筥	MR52	IV	7.17	3.17	1.20	27.7	頁 岩	-	
図119-16	石 筥	KG20	Ⅲ	4.52	2.22	1.10	8.0	頁 岩	-	
図119-17	石 筥	NC45	II	5.53	2.71	0.74	17.0	頁 岩	-	
図119-18	石 筥	NS74	IV	5.99	3.19	1.53	26.0	めのう	-	
図119-19	石 匙	MN45	Ⅲa	8.14	3.53	0.89	30.1	頁 岩	-	
図119-20	石 匙	OD62	IV	5.08	3.93	1.03	21.0	頁 岩	-	
図119-21	石 匙	NA64	Ⅲ	8.80	2.97	0.54	26.1	頁 岩	-	
図120-22	石 匙	MQ65	Ⅲa	4.11	5.43	0.33	10.3	頁 岩	-	
図120-23	石 匙	NP70	M	6.94	7.57	1.47	51.4	頁 岩	-	
図120-24	嘴状石器	-	Ⅲ	3.32	1.61	0.54	2.6	めのう	-	
図120-25	嘴状石器	-	-	2.28	1.49	0.61	2.0	めのう	-	
図120-26	嘴状石器	-	-	△2.68	1.69	0.65	2.9	めのう	-	アスファルト
図120-27	三脚石器	MT65	Ⅲb	2.37	2.61	0.55	2.30	安山岩	-	光沢あり
図120-28	三脚石器	NQ52	Ⅲb	3.93	4.04	0.86	13.6	安山岩	-	光沢あり
図120-29	三脚石器	NQ73	IV	3.97	4.01	0.91	11.5	安山岩	-	光沢あり
図120-30	三脚石器	MR64	SK10a	2.42	2.28	0.82	4.3	安山岩	-	光沢あり
図120-31	三脚石器	NQ62	Ⅲb	3.70	4.40	1.24	15.4	安山岩	-	
図120-32	三脚石器	NO70	Ⅲa	4.29	4.78	1.50	16.1	安山岩	-	光沢あり

表17 石器観察表(1)

挿図番号	名称	出土地点	層位	長さ	幅	厚さ	重量	石材	被熱	備考
図120-33	三脚石器	NF68	Ⅲ	5.38	2.04	1.84	25.4	安山岩	—	
図120-34	三脚石器	MT61	Ⅳ	5.42	5.51	1.20	24.9	粘板岩	有	光沢あり
図121-35	三脚石器	NA61	Ⅳ	6.50	6.45	1.21	22.8	安山岩	—	光沢あり
図121-36	三脚石器	MT63	Ⅱ	6.42	5.76	1.62	42.1	安山岩	—	
図121-37	三脚石器	NO51	Ⅲa	3.92	4.75	0.88	11.2	安山岩	有	
図121-38	三脚石器	MS59	Ⅲa	7.02	8.91	2.05	111.8	頁岩	—	
図121-39	三脚石器	NN51	Ⅲ	5.90	6.08	0.90	24.1	安山岩	—	
図121-40	三脚石器	MS52	Ⅲ	7.74	7.25	2.77	91.4	安山岩	—	
図121-41	三脚石器	NA65	Ⅳ	8.14	8.27	1.71	81.7	安山岩	—	
図122-42	三脚石器	NK69	Ⅲa	7.63	3.10	2.32	77.0	安山岩	—	
図122-43	三脚石器	NN50	Ⅲa	8.19	△7.92	2.85	130.7	安山岩	—	光沢あり
図122-44	三脚石器	MT62	Ⅲ	7.26	7.28	1.52	60.8	安山岩	—	光沢あり
図122-45	三脚石器	MR52	Ⅲb	6.47	△2.42	2.00	67.0	安山岩	—	
図122-46	三脚石器	ND53	Ⅲb	7.26	△4.32	1.71	47.9	安山岩	—	
図122-47	三脚石器	OB64	Ⅲb	8.62	△5.39	2.82	139.3	安山岩	—	光沢あり
図123-48	三脚石器	KK19	Ⅲ	6.82	5.80	1.72	103.2	安山岩	—	
図123-49	三脚石器	ND67	Ⅲ	7.03	3.95	2.13	51.8	安山岩	—	
図123-50	打製石斧	NH67	—	12.89	5.40	2.11	142.1	流紋岩	—	
図123-51	打製石斧	9SK08	19層	△9.98	8.89	3.71	367.3	頁岩	—	
図124-52	磨製石斧	MR49	Ⅱ	△2.06	1.45	1.12	4.3	閃緑岩	—	
図124-53	磨製石斧	NM65	Ⅲa	3.28	1.13	0.68	4.7	閃緑岩	—	
図124-54	磨製石斧	MK29	Ⅲ	3.30	1.57	0.61	6.7	閃緑岩	—	
図124-55	磨製石斧	—	—	△3.47	1.88	0.97	10.9	閃緑岩	—	
図124-56	磨製石斧	MA63	Ⅰ	5.90	2.86	1.05	28.0	閃緑岩	—	
図124-57	磨製石斧	NB54	Ⅳ	5.25	2.24	0.92	16.2	閃緑岩	—	
図124-58	磨製石斧	MP83	Ⅲ	11.28	4.25	2.23	172.0	砂岩	—	
図124-59	磨製石斧	NQ74	Ⅲb	8.65	4.38	2.41	142.3	砂岩	—	
図124-60	磨製石斧	NB66	Ⅲ	9.39	4.45	2.32	160.5	閃緑岩	—	
図124-61	磨製石斧	OC62	Ⅳ	12.76	5.49	2.98	326.3	安山岩	—	
図125-62	石錘	MT64	—	2.91	3.26	0.79	10.2	安山岩	有	
図125-63	石錘	NB63	Ⅱ	5.22	3.73	1.15	32.2	安山岩	—	
図125-64	石錘	NM70	M	4.60	3.05	1.50	24.2	砂岩	—	

表18 石器観察表(2)

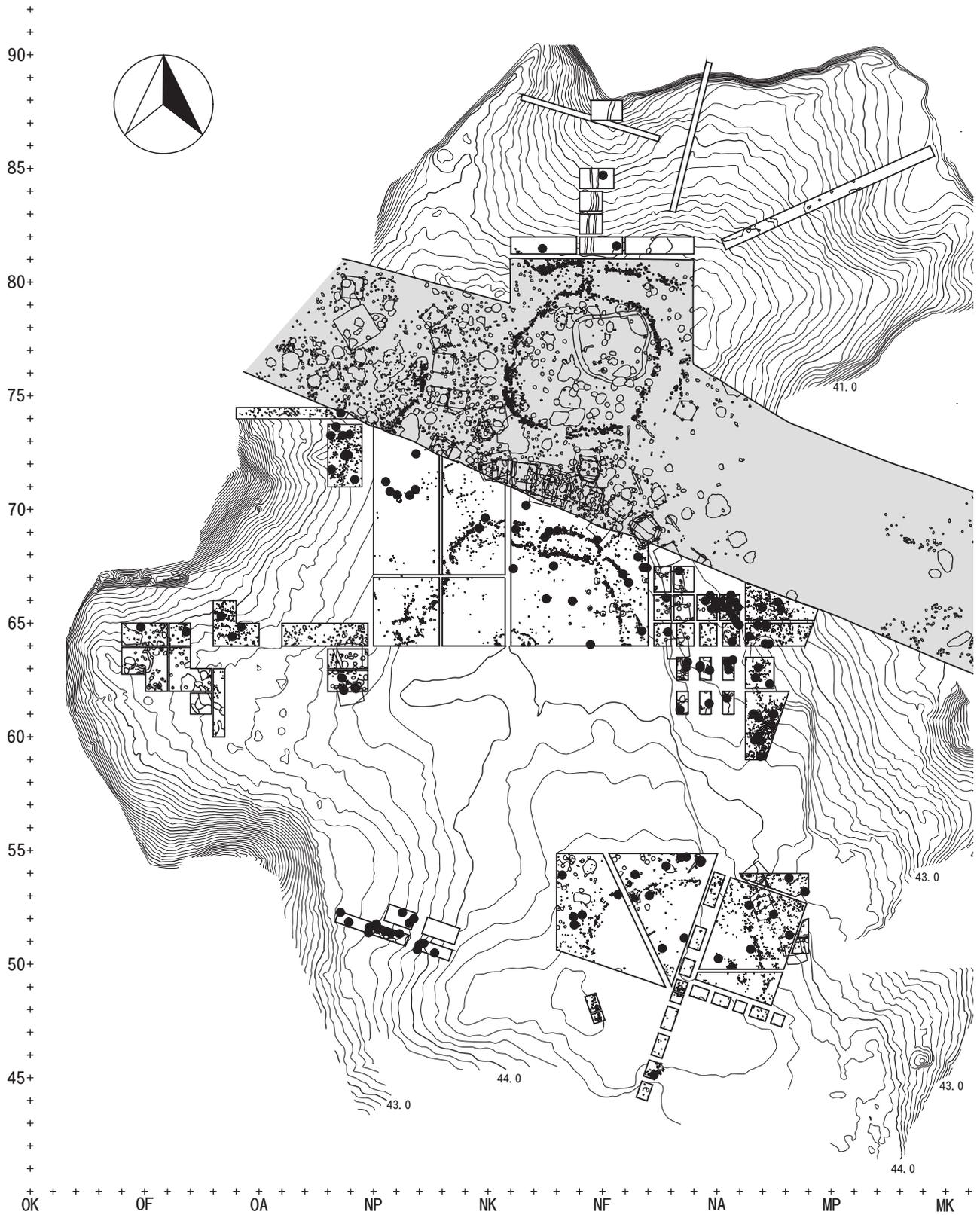
挿図番号	名 称	出土地点	層位	長さ	幅	厚さ	重量	石材	被熱	備考
図125-65	石 錘	MS63	Ⅲa	4.85	4.12	1.13	30.8	安山岩	—	
図125-66	石 錘	NB61	Ⅳ	8.61	5.28	2.05	125.7	凝灰岩	—	
図125-67	石 錘	MT53	Ⅲ	7.54	6.08	1.86	112.9	安山岩	—	
図125-68	石 錘	MR61	Ⅲb	9.39	5.04	1.60	121.4	安山岩	—	
図125-69	石 錘	MT53	Ⅱ	8.48	6.03	1.45	88.9	安山岩	有	
図125-70	石 錘	ND68	Ⅲ	10.19	7.41	1.15	183.4	安山岩	—	
図126-71	石 皿	SK572	Ⅲ	△5.80	△5.38	3.46	81.7	花崗岩	—	
図126-72	石 皿	NB65	Ⅲ	△5.37	△5.25	2.10	47.4	砂 岩	—	
図126-73	石 皿	MS53	Ⅲb	△9.03	△7.85	△1.85	96.0	砂 岩	—	
図126-74	石 皿	MQ53	Ⅲb	△7.32	△8.01	3.10	192.0	砂 岩	—	
図126-75	石 皿	NP51	Ⅲb	△6.65	△7.66	2.43	119.7	砂 岩	—	
図126-76	石 皿	MS59	Ⅲa	△9.26	△11.6	3.90	358	砂 岩	—	
図126-77	石 皿	NN69	Ⅲa	△7.22	△8.91	2.85	114.2	砂 岩	—	
図127-78	凹 石	MR51	Ⅲ	△7.40	7.24	3.20	221.2	砂 岩	—	
図127-79	凹 石	9SK08	22層	△7.45	6.47	3.99	251.1	安山岩	—	
図127-80	凹 石	MS82	Ⅳ	11.29	7.76	2.71	288.4	安山岩	—	
図128-81	敲 石	MR51	Ⅲb	10.58	7.99	4.98	480.9	安山岩	—	
図128-82	敲 石	NQ72	Ⅳ	△6.66	5.22	3.66	177.0	砂 岩	—	
図128-83	砥 石	OB61	Ⅲb	△15.9	10.55	4.21	930.8	砂 岩	—	
図128-84	砥 石	NO69	M	△6.16	△9.19	1.80	87.9	砂 岩	—	
図128-85	礫 器	OA64	サブトレ	△8.27	6.48	3.49	190.0	安山岩	—	

表19 石器観察表（3）

調査次 分類\調査区	第4次調査		第5次調査			第6次調査	
	環状列石C	トレンチ	環状列石C	環状列石A北	トレンチ	環状列石C	トレンチ
石 鍬	4	4	6	2	4	26	23
石 槍	1		1		2	2	4
石 錐			1			2	
石 匙		4	2		4	1	3
石 篋		1	2	2	2	3	1
嘴状石器							4
スクレイパー類	2	10	13	4	15	26	8
石 核	4	2	6		1		
R. F.	27	22	67	19	40	111	23
U. F.	12	5	17	7	21	38	5
三脚石器	2		11		2	9	2
打製石斧			1				
磨製石斧	1	3	4	3	1	2	4
石 錘	2	2	4	3		10	3
石 皿			2			3	
凹 石		1	5	1		10	1
敲 石							
砥 石					1		
礫 器							
磨 石							
剥片・チップ	132	107	864	171	238	1,618	255
合計	187	161	1,006	212	331	1,861	336

調査次 分類\調査区	第10次調査			第11次調査	第12次調査		第13次調査
	調査区①	調査区②	調査区③	調査区②	調査区③	調査区④	調査区④
石 鍬	27	5		63	10	21	80
石 槍	5			10	2	3	7
石 錐	3			7	1	5	9
石 匙	2			6	1	3	8
石 篋	1			5	1	2	3
嘴状石器					1		
スクレイパー類	9	3	2	96	7	26	99
石 核	5			6		11	5
R. F.	109	4	9	140	12	97	100
U. F.	59	4	5	166	30	108	69
三脚石器	4		1	20	6	10	11
打製石斧	1						1
磨製石斧	1			7	2	6	8
石 錘	7			25	10	20	17
石 皿	10	1		5	4	2	2
凹 石	15	1		18	14	19	8
敲 石	15			5	1	12	4
砥 石							1
礫 器							2
磨 石				2	1		
剥片・チップ	1,655	86	98	6,449	1,011	1,925	3,848
合計	1,928	104	115	7,030	1,114	2,270	4,282

表20 出土



凡例
● 三脚石器

0 20m

図129 三脚石器の空間分布

第4節 石製品

石製品は216点出土し、調査次ごとの数量は表22に掲載している(表22の調査区についてはP 7～11を参照)。そのうち、20点を図示した(図130～131)。

また、特徴的な遺物について、空間分布を作成している(図132～134)。なお、第1～3次調査分は表24に記載した。

石 棒

総数は2点で、出土傾向は環状列石C東側に集中する。稜の作り出しがないもので、石剣類と比較して小型である。6は原礫面を残しながら、打ち欠いて柄部を作出している。

石剣類

総数は11点で、出土傾向は環状列石周辺で多い(図132)。身部分の断面形状が、稜を一側面ないし両側面もつものをまとめた。5～7は打ち欠き研磨で柄頭が作出されている。8は柄頭に交差状の文様を線刻している。

岩版類

総数は138点で、分布傾向はエリア①-1に集中し、環状列石周辺で多く出土する(図133)。本遺跡では伊勢堂岱型(児玉2001)と呼ばれているもので、無文で周縁を打ち欠いたものである。これは東北北部に広く分布することが指摘されている(児玉2001・長田2007)ように、後期前葉における特徴的な祭祀遺物の1つと考えられる。

三角形岩版

総数は3点である(図134)。三角形岩版と区別したものはものは、三角形の形状で、表面に沈刻で文様を描いた小牧野型(児玉2001)である。先行研究が示すように、分布の中心は青森平野で搬入品である可能性が高い。

有孔石製品

総数は41点で、分布傾向はエリア①-1で多く出土する。貫通孔を有するものや、自然に孔の開いたものがある。自然礫を用いている。

線刻礫

総数は9点で、分布傾向はエリア①-1で多く出土する。破損していることから全容はうかがえないが、沈刻で弧線文様を描出している。